

# SSKR まうんてんえこお

## NO.310

### 社会福祉法人 練馬山彦福祉会

#### 本部

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9  
TEL(03)3998-5023 FAX(03)3998-5035  
http://nerimayamabiko-hukushikai.jp/

#### 山彦作業所（就労継続支援B型）

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9  
TEL(03)3998-5023 FAX(03)3998-5035  
Email: ymbk@mvi.biglobe.ne.jp

#### 山彦相談支援事業所（相談支援）

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9  
TEL&FAX(03)3970-2365  
Email: ymbksoudan@xqd.biglobe.ne.jp

#### やまびこ第二作業所（就労継続支援B型）

〒179-0081 東京都練馬区北町7-20-36  
TEL(03)3933-8935 FAX(03)5398-7681  
Email: ymbk2@mue.biglobe.ne.jp

#### やまびこ第二相談支援事業所（相談支援）

〒179-0081 東京都練馬区北町7-20-36  
TEL&FAX(03)6906-9803  
Email: ymbk2-soudan@xvd.biglobe.ne.jp

#### ワークショップ石神井（就労継続支援B型）

〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-17-4  
TEL(03)5923-9811 FAX(03)5923-9812  
Email: work@msd.biglobe.ne.jp

#### チャレンジワークやまびこ（就労移行支援）

〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-17-4  
TEL(03)5923-9864 FAX(03)5923-9865  
Email: c.w.ymbk@xvg.biglobe.ne.jp

#### ワークショップ石神井相談支援事業所（相談支援）

〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-17-4  
TEL(03)5923-9818 FAX(03)3997-3650  
Email: wkcs@kzh.biglobe.ne.jp

#### やまびこ三原荘（共同生活援助）

〒178-0063 東京都練馬区東大泉  
TEL(03)3978-6352 FAX(03)5935-6320  
Email: miharaso@mue.biglobe.ne.jp

### 目次

- 表紙 やまびこ第二作業所
- P2 法人本部 事業報告
- P3 山彦作業所 事業報告
- P4 やまびこ第二 事業報告
- P5 ワーク 事業報告
- P6 チャレンジワーク 事業報告
- P7 やまびこ三原荘事業報告
- P8 相談支援事業 事業報告
- P9~10 決算報告
- P11 新職員挨拶/ 署名報告
- P12 やまびこのかぜ(山彦)  
バザー中止のお知らせ



**まもなく移転です**

やまびこ第二作業所  
玄関前です。約40年利  
用させて頂いた建物と  
も、あと数日でお別れ  
です。

手前のアジサイは、  
24年前、亡くなられた  
メンバーのSAさんが、  
「おれだと思つて大切  
にしてよお」と言つて  
植えられたものです。  
あれから毎年のように  
鮮やかな花を咲かせ  
てくれていきます。特に  
今年はすばらしくて、  
ため息が出るほどの満  
開です。

移転先にも、アジサ  
イは一緒に行く予定で  
す。これからも見事な  
花を咲かせてくれるこ  
とを願っています。

# 法人本部2021年度 事業報告

## 法人を取り巻く状況

### (1) コロナ対応について

21年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症に影響された一年となりました。山彦福祉会でも感染者が発生し、その対応に追われることになりました。ひとたび感染者が出ると、利用者・家族への連絡に始まり、濃厚接触者の特定や行政機関への連絡調整、消毒や在宅支援への切り替え等膨大な業務を行うこととなります。感染者が出ないよう様々な対策を取っていても、完全には防ぎきれず、コロナのある中でどのように活動を維持していくか、本当に悩ましい課題となりました。幸い、感染は散発的なものに抑えることができましたが、旅行等の行事や外出企画、地域向け活動(バザー等)などの利用者の楽しみにしている活動は大きく制約を受けることになりました。また、作業時間の短縮が工賃額に影響するなど、今まで経験のない問題に直面してきました。

練馬区においては、年度途中から福祉施設等の利用者・職員全員に対して毎週のPCR検査を実施することとなりました。このことの利用者・職員に与えた安心感は非常に大きなものがあったと思います。

### (2) ウクライナ情勢

年度末になってウクライナで戦争が起こるという思いもよらない事態が起きました。彼の地の障害を持った方々がどのような状況にあるのか、想像するだに胸の痛む事態です。21世紀になってこのような武力行使が平然と行われことに驚きと怒りを感じます。今後の推移は全く予想できませんが、一日も早い平和を望むばかりです。

## 重点課題の取り組み

### (1) やまびこ第二作業所の場所問題

やまびこ第二作業所の建物は老朽化が激しく練馬区からの転居を求められていましたが、ようやくこの問題が決着しました。こぶし事業所が新たな土地に建物を建て、そこをやまびこ第二作業所と春日町幼児教室(放課後等デイ)の3所で利用することになり、22年10月をめどに移転することになりました。5年以上にわたり紆余曲折はありましたが、関係者の皆さまの努力と協力に感謝いたします。

### (2) 山彦作業所の建物問題

山彦作業所は区所有の建物で、雨漏り等の傷みがひどくなっていますが、区としては他の同様の建物と合わせて、大規模修繕を行わないという方針を示していました。

この間、練馬区と数回の話し合いを行い、22年度中に法人が建物を買収することに決まりました。これで、必要な修繕等は法人で行い、継続して使用することができるようになりました。

### (3) 相談支援事業

相談支援事業については、今後のあり方や3所の統合等について議論を重ねてきました。まだ明確な方向性は見いだせていませんが、3所の事業活動の統一化や、連携の強化などに向けて進めていくことになりました。

### (4) 処遇改善加算について

19年度に制度が始まった特定処遇改善加算制度については、法人での条件整備が整わず、導入できていません。今後、実現に向けて具体的に取り組んでいきます。

22年2月に始まった、福祉介護職員処遇改善臨時特例交付金については、導入を決定しましたが、その金額は、制度が謳っている一人一ヶ月9千円の半分ほどになる見込みです。

### (5) 中長期計画について

中長期計画策定のための研修受講などを行い、次年度に向けて素案を示しました。法人理念の再確認と、検討のため体制作りが次年度に向けた課題となっています。

以上

## 山彦作業所 2021年度事業報告

### ・利用状況

退所者 女性2名、男性1名  
在籍32名、平均年齢37、5歳（22年3月31日時点。）

### ・支援

新型コロナウイルス感染症の影響の為、短での勤務を継続中です。それぞれ利用者に合った作業を提供し、一人一人がお互いを認め合い仕事の仲間として高め合えるようになるために作業を細分化してわかりやすく支援しました。またマスクの徹底と3密にならないような環境作り等基本的な感染対策を行いました。

### 平均工賃

2020年  
6,949円

2021年  
11,142円

### ・作業支援

平均工賃の昨年との比較は右記の通りです。新型コロナウイルスの影響で9月と2月に2週間ずつ在宅支援の切り替えを行いました。在宅支援中もそれぞれに合った課題や目標を立て取り組みました。作業時間の短縮を取り入れ、月々の工賃支給額は減りましたが、最終的に平均工賃1万円以上を達成し、夏季・冬季・年度末と3回の賞与を支給することができました。賞与支給という形は利用者の気持ちを高める事にも効果が見られ、次年度も継続していけるように努めたいと思います。

### ・生活支援

健康診断を8月に実施。

作業所内のできる消毒等衛生管理の周知を定期的に行い、利用者が安全に過ごせるように配慮しました。

### ・給食

給食負担額は2020年度同様、1食300円でした。

食べる楽しみを大切に考え、「お楽しみ給食」を1か月に1回実施し、利用者に好きな献立を選んでもらう取り組みを行いました。「お楽しみ給食」は、利用者が楽しみにしていて、今後も続けていきたいと思えます。

### ・行事

辞令交付式、きょうざれん東京大会中止、練馬区合同運動会中止、ミニ納涼祭、障害者フェスティバル中止、ミニお疲れ様会、バスレク中止、地域交流事業中止、お花見中止。

### ・非常災害の対応

(1)避難訓練。利用者も参加の上、年2回実施しました。

(2)定期的に消防点検を実施。（電気設備も定期的に点検）

(3)防災対策。水・簡易飲料・毛布・ラジオ・発電機等を災害時を想定し準備。

(4)夜間監視業務。総合警備(株)による夜間機械警備(事務所)

(5)災害時伝言ダイヤルの実施訓練1回。

### ・会議

会議としては法人全体での合同職員会議、合同支援会議、山彦支援会議では利用者のケイスや工賃アップについて全職員で検討しまし

た。また給食会議は、職員と栄養士、調理員での会議を月に1回行いました。

### ・広報・情報公開

作業所や法人、利用者、障害者を取り巻く社会情勢など広く知ってもらうことを目的に機関誌「まっつんでんえこお」を定期的に発行しました。

### ・家族会

本年度は新型コロナウイルス感染防止の為中止。今後、非対面や時間を分けての家族会開催の方法を検討していきます。

### ・地域関連との連携

ボランティアの受け入れ状況ですが、地域のボランティアは中止しています。

・練馬特別支援学校実習生受け入れ

練馬特別支援学校2年生 1名10日間実習

練馬特別支援学校1年生 2名10日間実習

旭学園専攻科3年生 1名10日間実習

見学者・各特別支援学校学生・家族・他作業所職員等

### ・職員の研究・研修体制

利用者のライフステージに合わせた支援を展開し、より豊かな支援を実現するために各職員支援スキル向上の為研修に参加しました。虐待防止研修委員会で5回に分けて職員研修を企画しました。

### ・場所問題

練馬区と協議を続けていた建物問題ですが、買い取りのめどが立ち具体化してきました。予想以上に建物の痛みが激しく早急な対応が必要のため、買い取り後の改修を検討していきます。

# やまびこ第二作業所 2021年度事業報告

## 利用者状況（2022年3月31日現在）

・在籍者	34名（男性23名 女性11名）
・平均年齢	49.9歳
・年齢別内訳	20・30代 6名 40・50代 19名 60・70代 8名

### 1. 支援について

#### コロナの影響が続いています

コロナ禍での生活では、ストレスの発散や楽しみ等にも制限があるため、それが体調・病状にも影響を与えてしまつてまいりました。日頃から利用者のちょっとした変化に対して、職員同志が共有できるよう努めてまいりました。また、利用者からも話しやすいようにと心がけてまいりました。持病があり通いたくても通えない方もいましたので、関係機関と連携をとりながら、「在宅支援・家庭訪問」も行ってまいりました。孤立を防ぐことや安心感・気分転換にもなつたようです。

#### 少しずつですがレクリエーションを始めました

最近になつて作業所に入られた方は行事・レクを経験していない状況も続いていたために、21年度は感染防止に努めながら、7月には「七夕」、12月には「お楽しみ会」を実施しました。交流や仲間作りを目的としているのですが、コロナ禍でも楽しめるよう工夫を考えた1年でした。バスレクは行いませんでした。

#### 高齢となつた利用者の支援のため関連分野との連携に力を入れてまいりました

介護保険と併用しながら通われている方や、今後、高齢者福祉との連携が必要と思われる方が数

名います。関係者と連携しながら支援をすすめてまいりました。ご本人の抵抗感もあることから、訪問看護を提案・活用したりと、丁寧に進めるようにしてまいりました。

### 2. 作業について

#### 作業時間を延長しました

開始時間はコロナ前と変わらないのですが、終了時間は昨年度の2時半から3時15分へと延長しました。当初は体力的にキツそうな方もいましたが、少しずつ落ち着いてきています。

#### お互いに協調して作業を行えることを大切にしました

集団・チームとしての役割や自覚が持てるようその大切さを伝えながら、報連相（報告・連絡・相談）、またはお礼や挨拶を交わせるにお願いしてまいりました。

#### 主体的に働けるよう取り組みました

職員が担ってきた仕事を、少しずつ利用者にながら、やりがいを感じられるよう取り組んでまいりました。それにより新たな力や可能性を感じることで、今後に生かしたいと思ひました。

#### 週間作業予定を作成して掲示してまいりました

毎週、曜日・午前・午後、作業種類、内容、全体量、残業の有無等々と、詳細に作成した表を作業所に掲示してまいりました。多くの利用者が見るようになりまいりました。見通しが立つ安心感や、体調管理等にも役立てているようです。職員としても、具体的な計画を立てるよう意識を持つことができてまいりました。

コロナの影響を大きく受けずに工資を支給できました

以前から定例の作業が何種類あることから「コロナ禍でも大きな影響を受けずに作業をする」とが出来ています。

工資の支給前には会計説明を行い、内訳表を掲示しました。年3回の賞与も予定通り支給をいたしました。また、労働者としての観点から「有給休暇」「残業手当」「休日出勤手当」を継続しています。また「コロナによる時短により、額が激減してしまつた方（コロナ以前、ほぼ1日働いていた方が主な対象者）に対しては「激減緩和手当」を支給しました。（時給以外はすべて約）

・月の時給	220円（実質368円）
・月の平均工資額	約7000円
・月の最高工資額	約20000円
・夏季賞与	平均 約15000円 最高 約55000円
・冬季賞与	平均 約22000円 最高 約90000円
・年度末賞与	平均 約11000円 最高 約45000円

#### 1名の方が就労されました

半年が経過して、職場にも定着することができています。関係を切らさずに相談にも乗れるように時々連絡を取り合っています。

### 3. 建物について

練馬区はじめ、同じ建物を使用する2事業所との4者で協議をしながら進めてまいりました。計画や工事の進捗は、メンバーミーティングで共有をはかりました。

## ワークショップ石神井 2021年度事業報告

概要（2022年3月31日現在）

在籍者 31名（男性22名 女性9名）

平均年齢 52歳

入退所状況

・4名入所 4名退所

（他事業所2名・他部門2名）

・入所問い合わせ41件

・見学者18名

### 2021年度を振り返り

新型コロナウイルス禍によって受注作業が減り、工賃増には結び付きませんでした。しかし、農福連携として練馬区内のブルーベリー農園の農作業は今年度も継続し、さらに練馬区共同受注の仕組みから新たに1件の新規作業「駄菓子詰め合わせ作業」を増やすことができました。また、練馬区自主製品販売会に2回参加するなど、自主製品販売の取り組みを増やすことができました。農作業、駄菓子詰め合わせ作業、自主製品作業は利用者のやりがいにつながり、これらの作業があることにより通所日数が増えた利用者が数名いました。

### 2021年度の目標と取り組み

1 利用者の通所目的と生活課題に心える

#### 新型コロナウイルス感染症対策

感染防止の環境づくりを継続しました。また、区のPCR検査事業に協力し陽性結果が

出た場合でも利用者が不安にならないよう、在宅支援課題を事前配布し、3日間で在宅支援解除の見通しで対策を立てていることを利用者にも事前周知して対応しました。

就職を希望する利用者へ就職可能な利用者への支援

2名の方が卒業し区内の就労移行支援事業所から一般就労を目指すことになりました。加齢で腰痛などからの痛みがでている利用者への支援

毎日、体操と『鎌田式かかと落とし』を継続しました。理学療法士等に相談して新たな健康プログラム導入は取り組みませんでした。家族と暮らしている利用者への支援

相談支援事業所と連携して、希望のある利用者2名がそれぞれグループホーム見学を行いました。

2 作業種を増やして、工賃を増やす

・平均時給 156円  
 ・平均工賃額 5,486円

自主製品を商品化し、店頭販売と区の自主製品販売会に参加し合計40,900円売りました。また練馬区共同受注から新規に駄菓子分け作業を受注、継続できています。

3 リスクマネジメント体制の強化

新型コロナウイルス感染症対策や大規模震災に備えたBCP（事業継続計画）の策定等、リスクマネジメント体制の強化を図るため、毎月のワーク全体会議で検討しました。また災害対策関連研修を積極的に受けました。

運営内容（抜粋）

(1) 非常災害時の対応  
 ・3月25日 総合防災訓練を実施

(2) 苦情解決  
 ・苦情解決第三者委員のリスト掲示

(3) 虐待防止  
 ・法人で取組む虐待防止研修に全職員が参加し意識を高め、防止に取組

(4) 危機管理  
 ・「危機管理マニュアル」に則り施設管理を行う

(5) 職員会議  
 ・活動の点検や改善、共有を事業所内で職員会議の他、月に1度、法人の合同職員会議に参加

(6) 広報活動  
 ・法人の他事業所と協力して定期的に広報誌の発行

(7) 地域関係機関と連携  
 ・地域との連携を深めることを目的に、練馬区内の会議に参加

以上

# チャレンジワークやまびこ 2021年度事業報告

## 21年度の振り返り

就労者を輩出した後、メンバー確保に苦慮し、2週間ほど在籍者が1名のみという事態が発生しました。このことで収入面が不安定になり、事業目的を果たすと年度内の事業運営を揺るがすという制度の現実を目の当たりにしています。

「口を禍を問わず「入所者の確保」「就労輩出と就労定着の実績」の成果を根拠とした厳しい事業運営ですが、それでも安易な就労結果や宣伝広告へは向かわず、支援を丁寧に進め関係者への信頼を得ることでその解決を見出そうと努めてきました。

年度後半には関係機関からの問い合わせが増え、次年度上半期には定員満枠の見通しが立ちました。次いで事業開始初の「入所待機」の申出を受ける運びとなっています。

しかしながらこの入所動向は一過性で、運営収入が不安定な制度背景は変わりません。引き続き法人と協力し合い、丁寧な実直な支援と、本人や家族、関係者への信頼を胸に、本人の働きたい想いをサポートして参ります。

## 21年度 就労実績

就労者 3名

（軽作業1名、清掃2名）

職場定着者 2名

（軽作業1名、清掃1名）

## 利用状況

期末在籍者5名/定員6名

【年度内】入所4名/退所3名(就労)

見学者15名/入所待機1名

## 就労移行支援の内容

協同体験を目的とした集団プログラム「ウォーキング」を本格始動しています。

関係機関に情報共有シートを送付し、事業所での様子を伝えることで本人を支えるネットワークの共有に深まりを持たすよう取組を開始しました。

## 生活支援

体調管理や生活特性、整容等の就労準備について個別表と面談で進捗確認

## 就職支援

面接同行し、サポート実施

## 就労実習

職場実習に4名参加

## 定着支援

就労後も本人、会社とも連絡し連携。困りごとがあれば関係者と連絡を取り合い情報共有に努めました。

## 運営内容（抜粋）

- (1) 非常災害時の対応  
3月25日 総合防災訓練を実施
- (2) 苦情解決  
苦情解決第三者委員のリスト揭示
- (3) 虐待防止  
法人で取組む虐待防止研修に全職員が参加し意識を高め、防止に取組。
- (4) 危機管理  
「危機管理マニュアル」に則り施設管理を行う
- (5) 職員会議  
活動の点検や改善、共有を事業所内で職員会議の他、月に1度、法人の合同職員会議に参加
- (6) 広報活動  
法人の他事業所と協力して定期的に広報誌の発行
- (7) 地域関係機関と連携  
地域との連携を深めることを目的に、練馬区内の会議に参加
- (8) 研修  
支援上必要なスキル向上と運営に関する研修参加

## やまびこ三原荘 2021年度事業報告

### 入居者の状況

新規入居者3名（通過型に3名）。  
入居前の住居は、家族との同居が1名、精神科病院入院が1名、更生施設が1名。  
退居者4名。他のグループホームの滞在型へ3名/軽費老人ホームへ1名。  
精神科病院への入院は、延べ6名。  
平均年齢は54.5才。（20年度は54.3才）  
日中活動は、  
就労継続支援B型：6名、デイケア：5名、  
OT：2名、生活支援センター：なし、  
一般就労：1名、所属なし：1名。

### 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス対策として、職員・入居者の検温、手洗い等の徹底、食事サービスとミーティングの小グループ化等を行いました。年度内で、コロナウイルス感染者は出ませんでした。入居者職員ともに週に1回のPCR検査を実施しました。

### 事業の実施状況

#### 1. 生活の安定・向上

健康管理等生活支援  
金銭管理、服薬指導、服薬確認、外来受診や訪問看護との連携を行いました。必要に応じて買い物への同行、居室の清掃等の支援を行いました。  
健康診断とそれに合わせた対応  
11月に入居者8名実施。それ以外は日中活動先等で受けました。

家庭との連絡・相談  
入居者の生活上での課題対応などで家族との連絡・相談を行いました。  
顧問医との相談  
月に1回、世話人から入居者の状況を伝えて助言を受けました。

食事サービス  
\* 夕食週3回（日・火・木）、朝食週3回（火・木・金）行いました。利用人数は8〜12名  
昼食づくり  
\* 毎週土曜日実施していましたが、コロナ対策として昼食サービスに変更しました。  
余暇支援

映画鑑賞、ぬり絵、お花見、散歩、オセロ、トランプなどを行いました。  
退居への準備、退去者への支援  
退居への期限が近くなった入居者に対し、他の事業所の滞在型や、軽費老人ホーム等の情報提供や関係者とカンファレンスを実施する等の支援をしました。

#### 2. 入居者どうしの良好な関係づくり

(1) 入居者ミーティング  
\* 毎月、最終週の火・木曜日どちらかに参加するミーティングを実施。新型コロナウイルスの感染対策として、小グループに分けて行いました。  
(2) ユニットミーティング  
必要に応じて年に数回行いました。  
(3) 食事会  
\* 7月は中止、12月は弁当を注文し、小グループで行いました。

#### 3. 住環境の維持・改善

(1) 建物及び敷地内の維持管理  
退居して空室になった居室のクリーニング等を行いました。

### 非常災害時の対応

12月に自動火災報知器と通報装置の点検を行い、合わせて、火災時の避難訓練と消火器訓練も行いました。  
3月に地震時の避難訓練を行いました。

### 運営体制

苦情解決体制  
入居者などからの苦情の申し立てはなかった。  
研修  
内容・テーマ（実施機関）  
精神障害の理解と支援方法について、「発達障害を理解する」（練馬区社会福祉協議会）  
虐待防止研修「グレイゾーン」について（練馬山彦福祉会）  
第三者評価  
2019年度に実施。  
今回は、2022年度に実施予定。  
以上

\* 新型コロナウイルスの感染対策として協議を行い、柔軟に対応しました。

## 相談支援事業 2021年度事業報告

### 相談支援事業の今後

21年6月に練馬区と懇談を行い、事業の統合化や加算の取得について様々話し合いを行いました。

加算取得に向けての人員配置や職員の実働時間、常勤・非常勤のあり方、専従・非専従のあり方など、制度や規則の運用について懇談を行いました。制度の仕組みについてはある程度の知識を得ることができましたが、実際の運用面では事業の方向性や組織のあり方などもう少し具体的な問題、課題を出してもらおう中で行政としてできること、できないことの判断をしていきたいとの回答でした。

相談支援事業のあり方について当面3所の事務や様々なマニュアルなどの統一化を進め、一人職場であることの負担を減らすことを目指して、3事業所での話し合いの時間を増やしてきました。

### 山彦相談支援事業所

#### 1 モニタリングの実施について

21年1月に練馬区の検査指導があり、モニタリングの記録が不十分で結果としてモニタリング未実施があるという指摘を受けました。

21年度はモニタリングの回数を増やし、また記録の整備を行ってきました。施設利用者に関しては施設訪問し、利用状況の確認や担当者との面談をおこないサービスマニュアル利用についての

情報交換を行いました。施設によっては「コロナの影響で訪問を中断しているところもあり、その際は電話による状況問い合わせを行いました。内容がどうしても表面的になってしまいう傾向があります。居宅支援に関しても家庭訪問が難しいケースがあり、介護事業所への電話確認での対応となりました。

### やまびこ第二相談支援事業所

21年度も昨年度同様に「コロナ禍での活動でした。感染状況によって、お会いして良いのか？電話連絡が良いのか？等々と、利用者やご家族・事業所と確認をしながら進めてきました。20年度のアレルギーがないマウスがない状況に比べると、感染予防がしやすくなった分、直接お会いできる機会が多くなりました。

直接お会いすると、「少し太ったかな」「表情が暗くなったかな」等と、電話では分からなかったことを感じる事ができ、またそれがとても大切であることを実感した年度でもありました。

担当させて頂いている利用者・家族で、陽性になった方も少なくなく、その対応もあれば、「コロナ禍による、ヘルパーの退職や事業所の閉鎖等もあり、それらに連絡だけではなく、新しいヘルパー 事業所探しも多かったです。

同時にもし自分が陽性が濃厚接触者になったら・との思いもあり、感染予防を徹底しながらも、法人内の3相談事業所での連携や協

力体制の必要性を強く感じた年度でもありました。定期的に3事業所で話し合いを持つことができるとは、大きな成果だと思っています。

### ワークショップ

#### 石神井相談支援事業所

「コロナ禍の生活に慣れた人・疲れ切ってしまった人・感染した人など様々でしたが、21年度も感染者状況を見ながら臨機応変に対応しました。研修や会議の大半はリモートに置き換わり時代の変わり目にいることを実感した年でした。

家族や利用者の高齢化が進んでいることもあり、サービス等利用計画を作成する際に少し先の生活を考えたらえらるよう働きかけるように心がけました。

利用者や家族の希望でグループホームやショートステイの見学に(4カ所5名)行ったのですが、利用者・同居家族・離れて暮らす兄弟それぞれの意向が違っていたり、グループホームとショートステイの違いを理解していなかったり、見学して見えてくる課題や問題があることに気づきました。他にも、財産管理は誰がするのか？後見人は必要か？など、様々な問題も控えており、いざという時に備えて準備してもらおう事も大切だと感じました。

また、住居だけでなく高齢になってきた利用者の日中活動についても考えなくてはならない状況に直面しています。

利用者・家族の意向に寄り添い地域の中で

## 練馬山彦福祉会 2021年度 決算の概況

### 工賃収支

	合計	本部	山彦作業所	やまびこ第二	ワークショップ	やまびこ三原荘
就労支援事業収入	16,427,014	0	9,665,927	4,385,021	2,376,066	0
受注作業収入	7,344,515		1,861,793	3,260,238	2,222,484	
外勤作業収入	1,833,990		643,621	1,116,201	74,168	
弁当作業・その他収入	7,248,509		7,160,513	8,582	79,414	
就労支援事業支出	16,159,752	0	9,345,424	4,562,661	2,251,667	0
就労支援収支差額	267,262	0	320,503	-177,640	124,399	0

### 事業活動収支

事業活動による収入	203,445,176	338,756	62,880,291	44,270,619	47,712,934	48,242,576
訓練等給付費収入（B型）	116,456,266		53,110,830	32,204,327	31,141,109	
（就労移行）	6,498,526				6,498,526	
（共同生活援助）	21,188,339					21,188,339
支援給付費収入（計画相談）	6,474,183		1,263,032	3,779,151	1,432,000	
利用者負担金収入	5,870,055		1,983,900			3,886,155
自治体補助金事業収入	46,555,689		6,522,497	8,287,000	8,601,000	23,145,192
寄付金その他の収入	402,118	338,756	32	141	40,299	22,890
事業活動による支出	196,444,843	432,290	56,323,221	40,929,879	53,832,161	44,927,292
人件費支出	155,239,856	224,970	44,865,760	36,850,971	46,900,698	26,397,457
事業費支出	23,721,137		6,001,638	1,198,223	1,566,214	14,955,062
事務費支出	17,399,744	207,320	5,455,823	2,880,685	5,281,143	3,574,773
その他支出（支払利息）	84,106				84,106	
事業活動による収支差額	7,000,333	-93,534	6,557,070	3,340,740	-6,119,227	3,315,284

### その他の収支

施設整備等による収入	76,460	0	0	0	76,460	0
建築資金借入金 利息補助	76,460				76,460	
施設整備等補助金収入	0					
施設整備等による支出	984,000	0	0	0	984,000	0
固定資産取得・除却支出	0					
建築資金借入金 元金返済	984,000				984,000	
その他の活動による収入	5,700,000	5,700,000	0	0	0	0
拠点区分間繰入金収入	5,700,000	5,700,000		0	0	0
その他の活動による支出	5,983,261	0	4,000,000	0	283,261	1,700,000
拠点区分間繰入金支出	5,700,000		4,000,000			1,700,000
長期前払費用支出	283,261				283,261	
その他の収支差額	-1,190,801	5,700,000	-4,000,000	0	-1,190,801	-1,700,000

当期資金収支差額合計	6,076,794	5,606,466	2,877,573	3,163,100	-7,185,629	1,615,284
前期末支払資金残高	122,905,596	31,172,628	24,896,771	19,978,560	15,702,294	31,155,343
当期末支払資金残高	128,982,390	36,779,094	27,774,344	23,141,660	8,516,665	32,770,627

※山彦作業所とやまびこ第二は、就労継続支援B型と相談支援事業所、ワークショップは、就労継続支援B型と相談支援事業所と就労移行支援事業所の合算の数値となっている。

練馬山彦福祉会 2021年度 貸借対照表

資産の部							負債の部						
科目	合計	本部	山彦作業所	やまびこ 第二作業所	ワークショップ 石神井	やまびこ三原 荘	科目	合計	本部	山彦作業所	やまびこ 第二作業所	ワークショップ 石神井	やまびこ三原 荘
流動資産	144,195,012	36,794,644	35,320,236	25,452,582	11,317,468	35,310,082	流動負債	16,196,622	15,550	7,545,892	2,310,922	3,784,803	2,539,455
現金預金	104,816,628	30,953,681	23,118,116	18,817,257	4,101,261	27,826,313	事業未払金	13,389,117	15,550	7,016,906	1,872,930	2,187,027	2,296,704
事業未収金	37,878,161	5,840,963	12,154,255	6,585,285	7,061,989	6,235,669	1年以内返済予定設備資金	984,000	0			984,000	0
前払金	1,494,954		44,578	49,224	153,052	1,248,100	預り金	6,722	0	2,955	275	3,492	0
拠点区分間貸付金	0	0				0	職員預り金	1,807,453	0	519,811	437,717	607,174	242,751
仮払金	5,269	0	3,287	816	1,166	0	前受金	0	0	0	0	0	0
立替金	0	0	0	0	0	0	仮受金	9,330	0	6,220		3,110	
固定資産	149,580,787	10,000,000	6,985,202	6,439,544	125,339,977	816,064	固定負債	13,776,000	0	0	0	13,776,000	0
基本財産	130,940,085	10,000,000	0	0	120,940,085	0	設備資金借入金	13,776,000	0	0	0	13,776,000	0
建物	93,094,501	0	0	0	93,094,501	0							
建物附属設備	27,845,584	0	0	0	27,845,584	0	負債の部合計	29,972,622	15,550	7,545,892	2,310,922	17,560,803	2,539,455
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	0	0	0	純資産の部						
その他の固定資産	18,640,702	0	6,985,202	6,439,544	4,399,892	816,064	基本金	14,500,000	0	13,000,000	0	0	1,500,000
建物附属設備	44,947	0	0	0	0	44,947	第3号基本金	14,500,000	0	13,000,000	0	0	1,500,000
構築物	2,589,385	0	0	5,091	2,584,294	0	国庫補助金等特別積立金	101,456,160	0	587,713	73,357	100,747,977	47,113
機械及び装置	4,507	0	2	4,503	2	0	その他の積立金	13,161,465	0	5,311,465	6,350,000	1,500,000	0
車輛運搬具	162,953	0	115,831	3	2	47,117	工賃変動積立金	2,600,000	0	2,100,000	500,000	0	0
器具及び備品	1,510,184	0	1,407,904	79,947	22,333	0	設備等整備積立金	10,561,465	0	3,211,465	5,850,000	1,500,000	0
権利	225,000	0	150,000			75,000							
ソフトウェア	0	0	0			0							
工賃変動積立資産	2,600,000	0	2,100,000	500,000	0	0	次期繰越活動増減差額	134,685,552	46,779,094	15,860,368	23,157,847	16,843,665	32,039,578
設備等整備積立資産	10,561,465	0	3,211,465	5,850,000	1,500,000	0	次期繰越活動増減差額	134,685,552	46,779,094	15,860,368	23,157,847	16,843,665	32,039,578
長期前払費用					283,261		(うち当期活動増減差額)	5,633,177	5,606,466	2,505,817	2,914,900	△ 6,993,733	1,604,727
出資金	10,000	0	0	0	10,000	0							
その他の固定資産	649,000	0	0	0	0	649,000	純資産の部合計	263,803,177	46,779,094	34,759,546	29,581,204	119,096,642	33,586,691
資産の部合計	293,775,799	46,794,644	42,305,438	31,892,126	136,657,445	36,126,146	負債及び純資産の部合計	293,775,799	46,794,644	42,305,438	31,892,126	136,657,445	36,126,146

### 新職員あいさつ

やまびこ第二作業所

小泉 景

この4月から、やまびこ第二作業所に入職致しました小泉と申します。

約4年半、同所に非常勤としてお世話になり、ありがたくも今回正職員採用のお話をいただきました。

今までは非常勤の先輩方の後をトコトコ着いて廻っては、何事にも甘えてばかりの日々から一変、職員の方々と共に、支援や業務を行う側にいる自分に、まだまだ慣れない日々

の連続です。非常勤の時からメンバーの皆さんとはとても仲良くさせていたいただき、逆に教えていただくことや、指摘していただく事も多く、こんな一番下つ端の頼りない私が職員になったら皆さんどう思うだろう...と、初めは採用が決まった喜びよりも自信の無さの方が上回っていました。

ところが、メンバーの皆さんに職員採用が決まった事をお伝えすると「職員になれて良かっただね!」「色々大変だと思っけど負けないで頑張っけと、温かい言葉を沢山かけて

くださったり、一緒に涙してくださる方がいたり、私はとんでもない幸せ者だなと実感しました。

そして何より、常勤非常勤の皆さんに支えられ、おつちよこちよ代表のような自分を見守り、優しく指導してくださる事に心から感謝する毎日です。

この2か月は初めて携わる業務ばかりで、こなしていく事がやっとではあります、少しずつ着実に覚えていけるよう頑張りたいと思います。目まぐるしく変わる気候のせいもあるか、最近体調を崩すメンバーも多くいらつしやいます。

休みがちになると、心が内に籠って、今まで出来ていたことが億劫になったり、辛く感じたりするのはと思います。話したいな、ちよつとだけ顔を話してみようかな、そんな小さなきつかけから通所にながる一歩になるような居場所作り、自ら力添えが出来たらと思います。

メンバーの方々の話に耳を傾け、一緒に悩み、笑顔になれる時間が今より多くなるよう、皆さんと共に歩んで行けたらと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



### 国会請願報告

きょうされん第45次国会請願署名・募金活動にご協力ありがとうございました。

昨年からの引き続いて、コロナ渦での活動となりました。ワクワクン接種も進み、昨年よりいくらか状況が改善されたとはいえ、2、3月の活動時期にコロナの第6波が重なるなど、人が集まる場での署名協力のお願いが難しい状況にありました。そのため山彦三所でも、今年も街頭署名を中止せざるを得ませんでした。

こうした状況は、全国的にも同様のことが言えるようで、署名数にも影響が出ていると考えられます。

また、毎年多くの仲間とともに行っていた国会請願行動は、昨年

に引き続き中止となり、各議員を訪ね紹介議員のお願いをすることはできませんでした。しかし、オンラインで紹介議員の依頼をしたり、政党懇談会を行うなどの活動をおこない、228人の方に紹介議員になっていただくことができました。

審査結果は、衆議院・参議院ともに不採択という結果でしたが、これから障害のある人の立場に立った要望をかけた、「あたりまえに働き えられるくらし」に向け、引き続き運動をつづけていきたいと思っております。

今後とも、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

#### 集まった署名・募金

練馬山彦福祉会全体

署名：2259筆

募金：74,440円

きょうされん全体

署名：70万6629筆

募金：2601万9231円

# やまびこのかぜ

コロナ禍でも頑張るMさん

山彦作業所

**(質)** 入所してすぐ新型コロナウィルスが流行し、時短勤務や在宅支援等ありましたが3年間の思いを聞かせてください。

**(答)** 楽しく作業所に通所できています。

**(質)** 工賃は何に付かっていますか？

**(答)** 工賃日にヘルパーさんと一緒にサーティワンアイスクリームを食べています。

**(質)** 休日は何をしていますか？

**(答)** 卓球やチアダンスをしています。大好きなお店でお昼ご飯を食べたり、お買い物をしています。年に1、2回東京デイズニールンドへ行きます。

**(質)** 作業所で頑張っていることはなんですか？

**(答)** 封入作業、封かん、お弁当の回数券の作業をしています。封入作業は6点封入もできます。

**(質)** 今後、作業所で頑張りたいことはなんですか？

**(答)** 封入作業を頑張りたいです。公園清掃へ行きたいです。

## 【ご家族より】

**(質)** 3年間での思いや成長したところ聞かせてください。

**(答)** ご縁があつて山彦作業所にお世話になつて丸2年。コロナ禍の入所で生活の変化具合が想像を超えてしまいました。本人の常に山彦に通いたいという気持ちに救われています。手を変え品を変えのトラブルも多々ありますが、健康で所内の方々と良い関係を築いてくれることが1番の願いです。

コロナ禍で入所されすぐに在宅勤務になり、今現在も時短勤務の中頑張ってくれているMさん。封入作業も最初はなかなか難しかったことが今では6点封入もきちんとできる様になりました。工賃をもらう喜びを感じ、余暇活動も充実に過ごされているMさんです。今後の成長と活躍に期待したいと思います。(村上)



## 編集後記

今年の夏は猛暑日との予想です。節電を呼びかけられ、感染対策を徹底されたり、日常生活が数年前と一転しましたね。次々と値上げラッシュで毎日不安がいつぱいです。なにか楽しいことを見つけてコロナ禍での思いで作りをしていきたいですね。(村上)

## バザー中止のお知らせ

新型コロナウイルスに関しては、ワクチン接種が進み、外出制限も緩和されつつありますが、またしても感染拡大が急増しており、まだ先が見えない状況です。

そのため、やまびこ3所では、感染拡大を防止するため、今年度も各所のバザーを中止することといたしました。

楽しみにしていただいている地域の皆様、ご協力いただいているボランティアの皆様、本当に申し訳ございません。

やまびこにとって大切なバザーではありませんが、大切な命を守るため、苦渋の決断をした次第です。

来年以降、また皆様とともにバザーを開催できることを楽しみにしております。その際には、変わらずご参加いただけますよう、よろしくお願いたします。

## 編集人

社会福祉法人練馬山彦福祉会

東京都練馬区富士見台2-19-9  
TEL(03)3998-5023

## 発行人

障害者定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3-1-17  
ヴェルドウーラ102号室

頒価 20円